

大安寺報

曹洞宗 圓祥山大安寺 住職:長岡俊應

〒039-4401 青森県むつ市大畑町本町80番地
Tel 0175-34-2926 Fax 0175-34-6426
E-mail info@daijanji.jp

名句・名言に学ぶ

ジャヤワルデネ (スリランカ・政治家)
※原典はブツダ (お釈迦さま)

「憎しみは憎しみによっては止まず、ただ愛によってのみ止む」

今年も、終戦記念日が近づいてきました。既に過ぎましたが、広島・長崎の慰霊祭もこの八月に行われます。八月は、先の大戦で亡くなられた方々をご供養するとともに、あらためて、平和の尊さや非戦の誓いを新たにす月です。

さて、冒頭のことばは、日本が太平洋戦争に敗れ、一九五一年に迎えた「サンフランシスコ講和会議」の席上、当日のスリランカ全権代表 (兼財務大臣) であったジャヤワルデネ氏が、日本への戦後賠償を放棄する旨の宣言した際に引用した「ブツダ」 (お釈迦さま) のことばです。氏は、スリランカが日本によって被害を受けた事実を述べた上で、心の問題としての憎しみの連鎖がいさかい (戦争) につながるとの観点から、日本に対する賠償請求を放棄することを宣言しました。この演説では、同じ仏教国である日本との文化・歴史的つながりにも言及しており、スリランカと日本の現在の友好関係の背景ともなっています。

このことばは、いさかいの渦中にある時は当事者同士には、容易に響かないかもしれません。また、犯罪や戦争の被害者に対し、安易にかけられることばではないでしょう。しかし、人類の歴史を俯瞰して見たとき、また、過去のいさかいを振り返ってみたとき、このことばの普遍性が輝いてまいります。憎しみの応酬により、さらに憎しみが生まれ、いさかいは止むことがありません。また、当事者が憎しみの感情を持ち続けることで、自分自身を傷つけてもしまいます。相手を許す」さらには、「憎しみをいだいて自己自身を許す」。そうすることによって互いが救われるという理想を追い求めることをやめるべきではありません。

松本サリン事件で冤罪となり、また、奥さまに被害を与えられた河野義行さんは、元オウム真理教信者との対話を続けられました。彼はこのようにおっしゃっています。「人の命は有限。恨む行為そのものは面白くもないしエネルギーも要るし何のメリットもない。あつたものを戻すことはできないので、そこで一線を引いて死ぬ時には楽しかったって終わる方が、生産的だなと考えたわけです。」 (『中外日報』インタビュより抜粋)

幾多の経験をし、困難を乗り越えた彼ならではの箴言です。 合掌

仏事

Q & A

第十八回

Q. 「献杯と乾杯の違いは？」

A. 亡き方をご供養する仏事後の会食の際に行うのが「献杯」です。

「献杯」の際は、亡き方の遺影やお位牌に、飲み物をお供えた上で、「献杯」と低声で音頭をとった上で、杯やコップをかかげ、亡き方をしのびながら、慎ましやかに食事を共にします。「献杯」は、「杯」を「献ずる」 (捧げる) という意味があります。

「乾杯」は、主にお祝いの席で行うもの。その際は、「乾杯！」と高らかに音頭をとり、にぎやかに祝宴をお祝いします。

当寺の最新情報をチェック!

■大安寺ホームページ

<http://www.daijanji.jp>

■大安寺携帯サイト

<http://keitai.daijanji.jp>



@daijanji2010

※行事予定などをお知らせします。



facebook

<http://www.facebook.com/daijanji>

大安寺の宗旨：曹洞宗 本山：福井県永平寺・神奈川県總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)